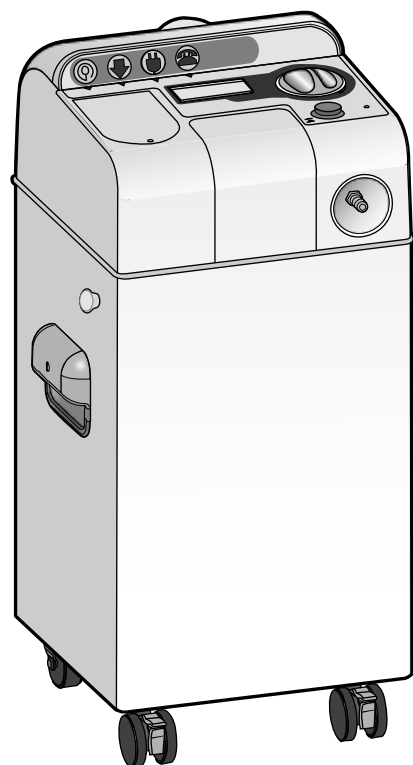
酸素濃縮装置

ルームサンソ アスペン5

取扱説明書

●本装置は、医師の処方及び指示に従ってご使用ください。
●ご使用前にこの取扱説明書をよく読み、ご理解のうえでご使用ください。
●この取扱説明書はいつでもご覧になれるよう、お手元に保管してください。

製品について

ルームサンソ５アスペンは室内空気から窒素を分離し、高濃度の酸素を生成する酸素濃縮装置です。酸素療法が必要な方が、医師の処方および指示のもと使用します。

安全上の注意

この取扱説明書をよく読み、注意事項を守って正しくお使いいただき、安全で快適な在宅酸素療法を行ってください。

⚠ 警告

火気厳禁 タバコや線香などの火気、又は発火源を装置の周囲 2m 以内に近づけないでください。火災ややけどのおそれがあります。

禁　煙 装置を運転中は絶対に喫煙しないでください。火災ややけどのおそれがあります。

分解禁止 装置を改造したり分解したりしないでください。

禁　油 油やグリース、潤滑油などを装置の近くで使用しないでください。火災ややけどのおそれがあります。

折曲禁止 カニューラやチューブを折り曲げたり、ねじったり、潰したりしないでください。

●万一、装置に異常が発生した場合には運転スイッチを切って、サービス業者へ連絡してください。

禁忌・禁止

●生命維持のために酸素吸入を必要とする場合には使用しないでください。

●装置に強い衝撃を与えないでください。落下・転倒があった場合には使用を中止し、サービス業者に連絡してください。

⚠ 注意事項

●停電や故障などの緊急時に備え、医師と相談のうえ満量の酸素ボンベを常に備えておき、すぐに切り替えられるようにしておいてください。

●装置に水やその他液体がかからないようにしてください。

●高温多湿など極端な環境下で装置を使用しないでください。適正な環境については仕様(12 ページ)をご参照ください。

●装置の周囲で、携帯電話や電磁波を発生する装置などを使用しないでください。思わぬ誤作動をするおそれがあります。

●装置の上に乗ったり、ものを置いたりしないでください。

●空気取入口フィルタを取り付けて運転してください。

●スプレーなど可燃性ガスや腐食性ガスがある環境で使用しないでください。

●低温下で保管していた場合、20℃前後の室内で 1 時間以上なじませてから使用してください。

●長期間使用しないときでも、月に一度は 24 時間以上連続運転してください。

●人口呼吸回路につながないでください。

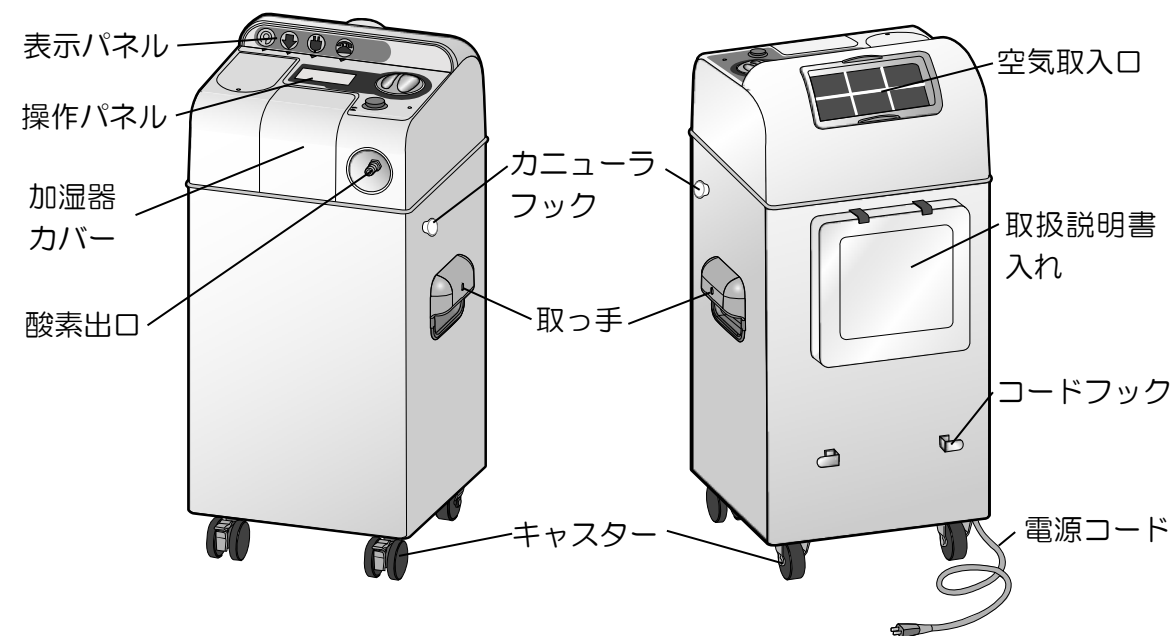
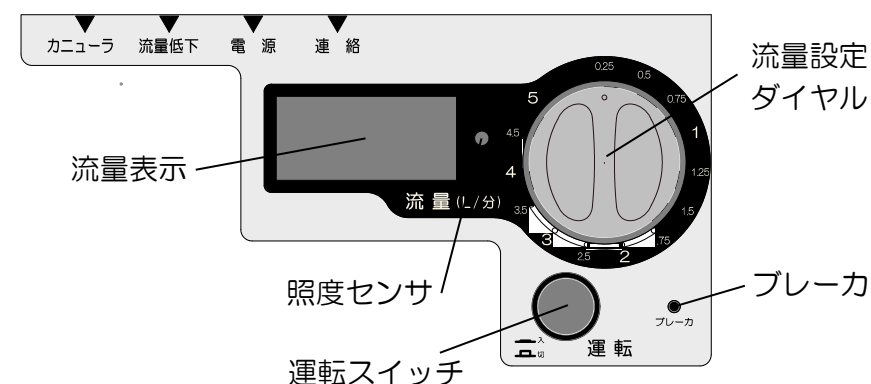
●突起物などでケガをしないようにご注意ください。

このほか、使用方法などの説明ページに注意事項が記載されています。
よく読んで正しくお使いください。

製品各部の名称

本　体

表示パネル

警報アイコン
流れ表示
流れ表示
ルームサンソ
アスペン5

操作パネル

使用前の準備

設置時の注意事項

●直射日光の当たる場所には設置しないでください。
●振動が激しい所や傾いている所など不安定な場所に設置しないでください。
●壁やタンス、カーテンなどから 15cm 以上離して設置してください。
●気圧・風・埃・塩分・煙・汚染された空気・化学薬品やガスを含んだ空気などにより悪影響を受けない場所、常温常湿で清潔な場所に設置してください。
●設置した後はキャスターをロックしてから使用してください。

①加湿器の取り付け

医師の指示により加湿器を使用する場合は、7ページをご参照ください。

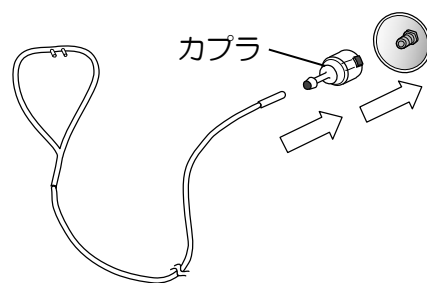
②電源コードの接続

電源コードプラグを家庭用電源（AC100V 50/60Hz）のコンセントに奥までしっかりと差し込んでください。

●電源コードが装置や重量物の下敷きにならないようにしてください。
●電源コードが足などに引っかからないように配置してください。
●ぬれた手で電源コードプラグに触れないでください。感電するおそれがあります。
●タコ足配線をしたり、延長コードを使用したりしないでください。
●電源コードの取り外しの際は、コードを持って引き抜くなど無理な力をかけないでください。

③カニューラの取り付け

カプラにカニューラを装着し、カプラを酸素出口にカチッと音がするまで差し込んでください。

カプラ

●延長チューブを使用する場合は、15m 以内で使用してください。

使用方法

① 電源を投入する

運転スイッチを押してください。装置が始動し、全アラームアイコン、流れ表示、流量表示が点滅します。
それから５分程度、装置はウォーミングアップを行います。ウォーミングアップ終了後、通常運転が開始されます。

●ウォーミングアップ中、LED は消灯し、流れ表示の LED が点滅します。電源落ちアラーム、連絡アラームのみ発生します。

②流量の設定

医師の処方に従って、流量設定ダイヤルを回して、流量を正しく設定してください。設定された流量は流量表示部に表示されます。

●流量を設定した後に、カニューラの先端（プロング）から酸素が出ていることを確認してください。
●酸素が出ているか分からないときにはコップに水を入れ、カニューラの先端をつけて、気泡が出ることを確認してください。
●運転時には流量表示が表示されていることを確認してください。流量が表示されない場合、正しく酸素が流れていない可能性があります。

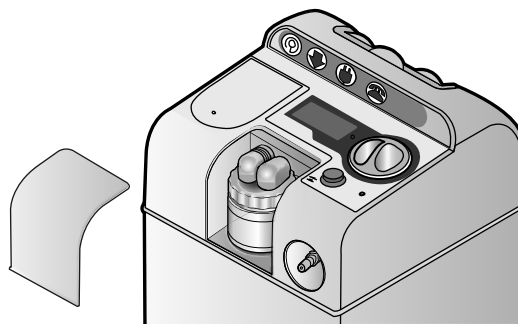
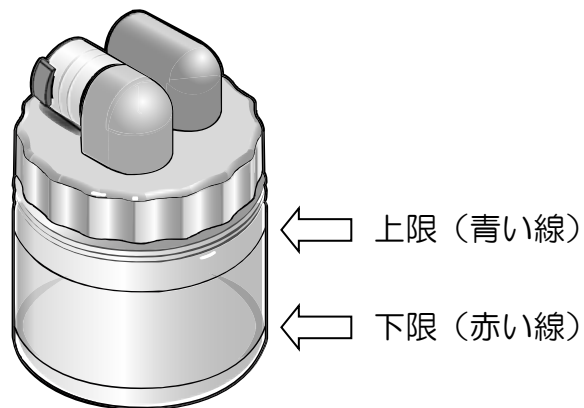
③カニューラの装着

カニューラを正しく装着し、酸素の吸入を開始してください。

加湿器について

加湿器は医師の指示があった場合に使用してください。加湿器を使用しない場合は、加湿器カバーを外さずに装置をご利用ください。

●加湿器は、当社指定のものを使用してください。
●運転中は加湿器を取り外さないでください。

①加湿器カバーの取り外し
前面中央にある加湿器カバーを、下から持ち上げるようにして取り外してください。

②加湿器の取り付け
加湿器に、精製水（水温 40℃以下）を上限（青い線）まで入れてください。

加湿器に精製水を入れたら、キャップをしっかりと閉めてください。
加湿器を取り付け部にカチッと音がするまで差し込んでください。

●加湿器の精製水は毎日交換してください。
●加湿器は薄めた食器用洗剤などで洗浄するか、煮沸消毒を行ってください。ただし、キャップ部分は煮沸洗浄を行わないでください。
●加湿器の下限の線まで水量が減ったら随時、精製水を補給してください。

使用後の処理

①カニューラの取り外し
カニューラを外して、カニューラフックにかけてください。

●カニューラは定期的に洗浄し、清潔に保つようにしてください。

②電源を切る
運転スイッチを押して、電源を切ってください。

●電源を切ってから、５分間は電源を投入しないでください。

お手入れのしかた

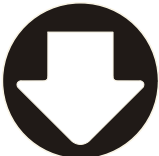
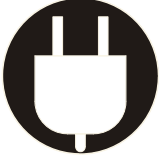
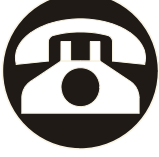
お手入れは、装置の電源を切ってから始めてください。

毎日すること
□加湿器を洗浄し、精製水を交換してください。

毎週(または必要に応じて)すること
□空気取入口のフィルタについたホコリを、掃除機などで除去してください。
□空気取入口を水洗いしてください。水洗いしたフィルタは完全に乾いてから装置に取り付けてください。
□鼻カニューラは汚れに応じて、先端の穴を綿棒などで洗浄し、陰干しして十分乾かしてください。（各社添付文書の仕様に従ってご使用ください。）
□装置の表面を乾いた清潔な布で拭いてください。

サービス業者による保守点検
□技術解説書に記載されている定期点検（酸素濃度・流量などを確認）をします。
□定期的に装置のオーバーホールを行います。

警報の種類

項目	視覚表示						アラーム	音声
	カニューラ	流量低下	電源	連絡	流れ表示	流量表示		
起動時(1 秒以内)	点灯	点灯	点灯	点灯	点灯	点灯	ピーッ	
準備期間(5 分間)					点滅	点灯		
正常時(起動 5 分後)					点灯	点灯		
カニューラ折れ	黄点滅					点灯		
カニューラ折れ	黄点灯					点灯	ピーッ	音声 1
流量低下 10 秒後		黄点滅				点灯		
流量低下 30 秒後		黄点灯				点灯	ピーッ	音声２
電源(<85v)			赤点滅				ピーッ	音声３
酸素濃度低下(<82%) 10 分後				赤点灯	点灯	点灯	ピーッ	音声４
運転圧力				赤点滅	点灯	点灯	ピーッ	音声４
温度異常(>45℃)				赤点滅			ピーッ	音声４

※音声１[カニューラ]、音声２[流量低下]、音声３[電源]、音声４[連絡]

※音声の内容については次のページをご参照ください。

※流量設定変更後 1 分間は、カニューラ折れアラーム及び流量低下アラームが発報されない仕様となっております。

警報が出たときは

●警報（アラーム）が出たときは、あわてず、落ち着いて対処方法を確認してください。

カニューラ

カニューラが折れていないか、流量設定ダイヤルが所定の位置にあるか確認してください。

カニューラやチューブが折れたりつぶれていたりする可能性や、流量設定ダイヤルが所定の位置ではなく途中で止まっている可能性がありますので、確認してください。

流量低下

加湿器やフタが緩んでいる可能性があります。確認してください。

加湿器が奥まで取り付けられていない、またはフタがきちんと締まっていない可能性があります。加湿器を取り付け直してみてください。

電源

コンセントやブレーカーを確認してください。

運転スイッチを切り、電源プラグがコンセントから抜けていないかどうか確認して、抜き差しをしてみてください。または、ブレーカーのボタンが上がっていないか確認し、上がっていたら押し込んでください。

連絡

機械の点検が必要です。サービス業者へ連絡してください。

装置の点検が必要になりました。24 時間ご使用の方は酸素ボンベに切り替えて、サービス業者に連絡をしてください。

トラブルシューティング

症状	◇確認事項
電源スイッチを入れても装置が作動しない	◇電源コードプラグがコンセントに正しく接続されているか確認してください。あるいは電源コードプラグを差し込みなおしてください。 ◇ブレーカーが作動していないか確認してください。ブレーカーのボタンが上がっていたら、スイッチを押し込んでください。
流量表示が出ない	◇流量設定ダイヤルが定位置に停止しているか確認してください。あるいは流量設定をやり直してみてください。
酸素が出ない	◇カニューラが酸素出口に正しく接続されているか、延長チューブなどが外れていないか確認してください。 ◇加湿器が正しく取り付けられているか、フタがゆるんでいないか確認してください。 ◇流量設定ダイヤルが定位置に停止しているか確認してください。
空気取入口の吸い込み音が大きい	◇空気取入口にごみやホコリが詰まっていないか確認してください。

以上の方法で異常が回復されない場合は、サービス業者(緊急連絡先)に連絡してください。

製品仕様

製　品　名：ルームサンソ５ アスペン
一般的名称：酸素濃縮装置　医療機器認証番号：224AFBZX00044000
分　　類：管理医療機器・特定保守管理医療機器
流 量 設 定: 0.25・0.50・0.75・1.00・1.25・1.50・1.75・2.00・2.50・3.00・3.50・4.00・4.50・5.00（L/分）
酸 素 濃 度: ９０ －３/＋６（%）（流量２L/分時）
寸　　法：304×306×678（mm）（突起部は除く）
重　　量：25kg　　電　　源：AC１００V　５０/６０Hz
消 費 電 力: ２20VA
使 用 条 件: 周囲温度範囲　10℃～35℃
：相対湿度範囲　30%～75%(結露なきこと)
保 管 条 件: 周囲温度範囲　5℃～40℃
：相対湿度範囲　95%以下(結露なきこと)
気 圧 範 囲: 900hPa～1060hPa
電撃に対する保護形式：クラスⅡ機器、B 形装着部

故障や異常が発生したら、10 ページの「警報が出たときは」、および 11 ページの「トラブルシューティング」をお読みください。それでもなお問題が解決しない場合は、サービス業者(緊急連絡先)にご連絡ください。

サービス業者（緊急連絡先）

RUFUTO
製造販売業者：日本ルフト株式会社　東京都台東区東上野 5-1-8
製　造　業　者：日本ルフト株式会社 生産事業所　埼玉県さいたま市南区辻 5-6-14

2013 年 10 月 1 日第 3 版